

平成25年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	建設部	課等名	道路河川課	記入者名	松下 孝	内線	103
事務事業名	市道整備事業（里道等整備）		事業期間	平成 17 年度 ～ 平成 年度			
総合計画上の 位置付け	基本方針	安全・安心で快適な都市基盤が整った人と自然を大切にすまちづくり					
	施策	道路・交通ネットワーク・港湾の整備①					
	細施策	生活関連道路の整備					
根拠法令・条例、関連計画等		出水市里道等整備助成事業補助金交付要綱					
予算細々目名				会計	款	項	目
里道等整備事業補助金				1	8	2	3

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

<p>地域が事業主体となり実施される団体に対し、事業費の75%を助成し、生活環境整備を図る。</p>
--

3 事務事業の概要

H24年度の事業概要	H25年度の 事業概要・計画	H26年度の事業計画	H27年度の事業計画
<p>3地域に対し、4,161千円の補助金を交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小原上地区 ・中塩屋地区 ・青椎地区 	<p>4地域に対し、8,307千円の補助金を交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖田地区 ・小原上地区 ・坂元地区 ・上村西地区 	<p>毎年、広報紙により事業要望箇所を募集し、要望地区に対し、7,000千円を年度予算枠として補助する。</p>	<p>毎年、広報紙により事業要望箇所を募集し、要望地区に対し、7,000千円を年度予算枠として補助する。</p>

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
<p>里道を管理している地域</p>	<p>地域が事業主体となり整備する者に対し補助する。</p>
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
<p>地域の住環境が整備され、快適な都市基盤が整う。</p>	

1 指標の推移

区分	指標名	単位	24年度実績	25年度目標	26年度目標	27年度目標	最終目標	
							年度	目標値
活動指標	① 相談・要望件数	地区	3	4	7	7		
成果指標	① 実施件数 (S53～H18 旧出水市228地区 H19～H23 24地区)	地区	3	4	7	7		

※ 活動指標…事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など)

※ 成果指標…施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	現在7月に広報紙で要望箇所の希望調査を行っているが、自治会長等に対し説明会を開催し傾向を図る。しかし、単独事業であり、多数の申込があった場合、多額の財政負担となる。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由
	<input type="checkbox"/> ない	やはり地元だけでは、整備が進まない。
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	予算枠を設定し、補助している。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか (市以外の取組含む)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	土地改良事業補助金(農林水産整備課 60～75%)があるが、農業振興を図るための整備である。
市と受益者との負担割合は妥当ですか (受益者負担がある場合に記入してください)		
	<input checked="" type="checkbox"/> はい	理由
	<input type="checkbox"/> いいえ	本制度は、旧出水市で昭和53年度から実施され、これまで255地域で整備がなされてきており、地域に根付いた制度である。また、平成4年度に補助率を70%から75%に改正され、合併協議でも検討されている。
他の市町村では実施している事業ですか (県内の他市の状況等を具体的に記入してください)		
その他	県内19市のうち、本市と同じような補助金制度を施行している市が7市ある。 南さつま市：市の補助率60% (災害対応70%)、南九州市：補助額50万円 (100万円以下の工事に限る。)、始良市：補助率85% (農業用水路、里道) 耕地課所管)、枕崎市：舗装1/3、水路1/2、阿久根市：補助率70% (限度額350万円)、指宿市：補助率50%	

3 今後の方向性、改善案等 (一次評価)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	平成20年度政策審議会で制度の見直しについて協議がなされており、当分現行のまま継続が妥当と思われる。

4 今後の方向性、改善案等 (二次評価)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に現行のまま継続とする。

5 今後の方向性、改善案等 (最終評価)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に現行のまま継続とするが、総体的に里道等の状況を検証した上で、補助対象要件や負担割合等について検討する。